

# 再 評 価 調 査 書

整理番号 8

担当部局 土木部都市局公園街路課 街路・特定施設G 内線4650

## 1 事業概要

(1)事業名	街路事業	(2)名称	(都)穴塚大岩田線
(3)事業主体	茨城県	(4)箇所名	土浦市下高津地内
(5)採択年度	平成25年度	(6)完成予定年度	平成32年度
(7)事業目的	・本都市計画道路は、土浦市南部を東西に結ぶ主要幹線道路であり、整備により地域間の交流、連携強化を図る。 ・老朽橋の架替及び立体交差付近における狭隘区間を解消し、交通の円滑化を図る。 ・通学児童などの歩行者、自転車利用者の安全の確保を図る。		
(8)事業内容	・街路延長：L=362m、幅員：W=20m/6.5m(2車線) ・用地補償：A=4,000m <sup>2</sup> 、家屋補償：22戸		

## 2 再評価の理由

(1)再評価の理由	5年経過	(2)当初完成予定	平成29年度
(3)未着工・事業が長期間要している理由	土浦市内の市街地における事業のため、商店や住宅が事業地となり、代替地要求者による用地交渉が難航したことから、当初の事業計画期間内での完了が困難となり事業が長期化している。		
(4)前回指摘事項に対する対応状況(再々評価の場合)	委員会の意見	対応状況	
	—	—	

## 3 事業計画の変更

(1)完成年度の変更	平成29年度 → 平成32年度	3年延長
	【理由】用地交渉が難航(代替地要求)したことにより事業が遅れた。今後、橋梁および道路改良の工事に3年を要することから、完成年度を3年延長する。	
(2)事業内容の変更	【理由】 —	
(3)事業費の変更	【理由】 —	

## 4 進捗状況と今後の見通し

(1)事業進捗状況	全体	前年度	前年度まで	進捗率
事業量(m)	362	0	0	0%
事業費	工事費	925	114	47.1%
	用地買収補償費	675	77	92.4%
	計(百万円)	1,600	200	68.4%
(2)関連事業の進捗状況	大型商業施設前の市道工事が、平成21年に完了した。			
(3)今後の見通し	工事	用地等		
	高津橋の架け替えや道路改良工事を平成32年度までに完了させ、供用開始を図る。	残る用地取得(残1件)について、平成30年度までに完了させる。		

## 5 評価内容

(1)事業の必要性	本路線の阻害要因となっている国道354号の高津橋は老朽橋であり、また、通行制限が設けられ、緊急車両の通行に支障を来していることから、架替が必要である。沿線地区における土地利用の活発化に伴い交通量が増大し、以前よりも渋滞が激しくなっていることから、渋滞解消のための整備を進める必要がある。					
	社会情勢等の変化に関する指標1	計画時の状況	現時点での状況	社会情勢等の変化に関する指標2	計画時の状況	現時点での状況
	(都)穴塚大岩田線対象区間 交通量	11,500台/日	12,933台/日	—	—	—
(2)事業の有効性	本事業の実施により、狭隘区間において混雑時の渋滞長の解消が図られるとともに、通学路の安全性が確保されるなど、交通安全対策の推進が図られる。					
	効果予測に関する指標1	事業なし	事業あり	効果予測に関する指標2	事業なし	事業あり
		(都)穴塚大岩田線対象区間の通過時間	4分	1分	—	—
	効果算定要因に関する指標1	事業なし	事業あり	効果算定要因に関する指標2	事業なし	事業あり
	交通量(H42)	9,800台/日	11,500台/日	—	—	—
(3)事業の効率性	<b>ア) 主な効果 (B)</b> ①当該路線の整備により、土浦市下高津地内の走行時間短縮、走行経費の減少が図れる。(約18.8億円) ②通行車両・歩行者等の交通安全性が確保される。(約0.1億円) (合計18.9億円) ③国道354号の高津橋交差部の幅員狭小、高さ制限が解消され、通過交通や緊急車両等の円滑な通行が図れる。 ④道路拡幅に伴う延焼防止効果が期待される。 ⑤緊急輸送道路ネットワークの強化が図れる。					
	<b>イ) 主な費用 (C)</b> ①事業費 15.4億円 ②維持管理費 0.2億円 計 15.6億円					
	主な効果のうち貨幣化が可能な①、②について事業の効率性を分析した結果は以下のとおりである。 参考となる指標 $B/C = 1.21$					
(4)地元の意向	地元市町村である土浦市より、整備要望第1位で要望がされている。					
(5)コスト縮減や代替案立案の可能性	—					

## 6 対応方針

土浦市内の交通環境を改善し、地域間の交流・連携強化を図るため、事業を継続する。

## 7 再評価委員会の意見

継続することが妥当である。

## 8 委員会の意見を踏まえた対応

期間内の完成を目指し、現計画で事業を進める。